



# 学校だより

令和5年度 第4号  
令和5年7月20日発行  
横浜市立藤の木中学校  
横浜市南区大岡四丁目44番1号  
045-714-2817

## 夏休みにやってみよう

こうちょう ささはら ようこ  
校長 笹原 洋子

日本各地で豪雨の被害が出ている中、横浜は6月半ば以降、ほとんど雨が降らないまま梅雨が明けそ  
うです。セミが鳴き始めました。夏、到来。そして、夏休みがやってきます。

6月29日に本校の教員が藤の木小学校で授業参観をし、その後、研究協議をしました。今年度、藤の  
木小学校も本校も、子どもに身に付けさせたい資質・能力として「コミュニケーション能力」に焦点を当てる  
ことにしました。その力を育てるために、子どもの発達段階に応じてどのような授業を行ったらよいただろう  
かということを中心に研究協議を行いました。中学校では、コミュニケーションの中でも、思いや考えを言  
ったり、表現したりする力の育成を重視したいと考えています。小学校の取組、大いに参考になりました。

この「コミュニケーション能力」は学校とご家庭が協力しながら育てていく必要があります。まもなく始ま  
る夏休み、ご家庭でも多くの場面で子どもたちの思いや考えを引き出していただけたら幸いです。そして、  
子どもたちが自分の意見を伝えることで、「よかった」と感じる場面が増えると、子どもたちの実力になって  
いくと思います。

先日の朝会で、NHKの「魔改造の夜」という、日用品や家電製品を設定された課題の解決を目指して  
改造に取り組む番組を、子どもたちに紹介しました。そして、子どもたちに「これからの時代、『課題や課題  
の解決方法を考えたり工夫したりすること』『仲間と力を合わせて取り組むこと』『あきらめずに努力する  
こと』が求められている。」と話しました。

その朝会のあと、その時紹介した改造について、何人かの生徒に「あなただったらどんな仕組みにしたら  
いいと思う?」と聞いてみました。すると、ほとんどの生徒が、「私だったら・・・したい。」「僕は・・・すると思  
う。」と答えてくれました。藤の木中の生徒たちは、しっかり考える力をもっているなあと感心しました。次は、  
考えたことを行動に移せる知識や技能を身に付けること、そして、困難なことにもあきらめずに取り組み続  
けることが求められてきます。そんな力を中学校生活で、少しでも伸ばしていきたいと感じました。

夏休み、与えられた宿題ではなく、自分自身で興味をもった課題を解決する  
ような研究や作品作りをする生徒がいたらうれしいです。部活動等で学校に  
来る生徒もいますが、地域や家庭が生活の中心となる夏休み。地域の皆様、  
保護者の皆様、生徒たちの見守り、ご指導、どうぞよろしく願いいたします。

